

北海道医療大学

〒061-0293
北海道石狩郡当別町金沢1-7-7番地
広報部 入試広報課
TEL 011-200-0600, 2621
https://www.hokui-yo-u.ac.jp/

北海道医療大学は1974年の開学以来、教育理念「保健と医療と福祉の連携・統合」のもと、教育研究施設や医療機関の充実を図ってきた。

2019年4月には、医療技術学部臨床検査学科を開設。薬、歯、看護福祉、心理科、リハビリテーション科と合わせた6学部9学科体制となるとともに、学部学科の枠を越えた学びや交流がさらに充実しています。また、臨地実習の機会も多く用意されており、学生は高い臨床能力を身につけることができます。

46年の歴史を有する、北海道の私立大学で最大規模の医療系総合大学として、今後も多職種連携による「チーム医療」の現場で活躍できる、高度な医療人を育成していきます。



浅香正博学長

6学部9学科の豊富な教育資源で チーム医療を担う専門職を育成する 北海道随一の医療系総合大学

家族的で温かな学風のもと 地域に貢献する医療人を輩出

北海道医療大学は1974年薬学部を筆頭に医科系総合大学をめざして設立されました。初代学長は建学の抱負として、教育本来の理想を「知育・徳育・体育の合一的実現」と述べています。1978年には歯学部を、また同年に附属病院を開設。第2代学長は「人間性豊かな医療人」の育成を願い、建学の理念を「知育・徳育・体育三位一体による医療人としての主人公の完成」としました。こうした理念の下に、学生の自立と自己実現を支援する教育を実施していく中で、特色である家族的で温かな学風が形成。かくして、本学を巣立った学生たちは地域の医療に貢献する専門職人として高い評価を受けています。

第3代学長は1993年の看護福祉学部の開設を契機に、保健・医療・福祉の総合大学として、さらなる発展を期するため、4つの教育目標と教育理念「保健と医療と福祉の連携・統合」を掲げ、「魅力ある大学づくり」の推進を図りました。2002年には心理科学部を開設。これは第4代学長の「21世紀はヒト

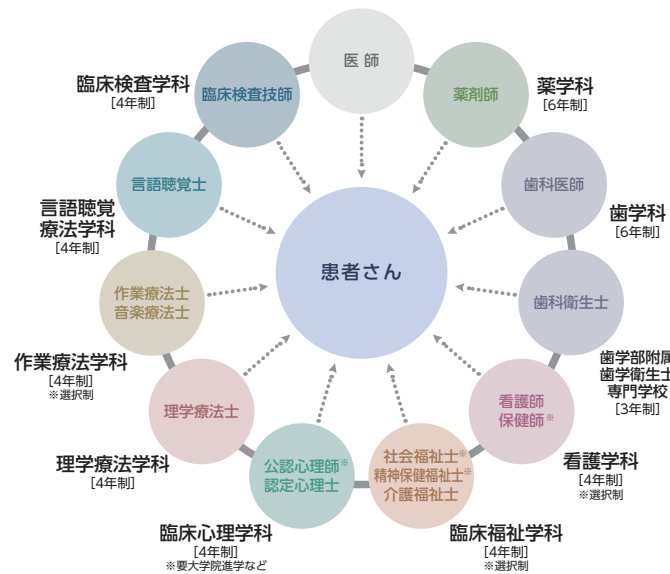
ゲノムの解明によって人間の存在の物質的基盤が明らかにされると同時に、人間の人間たる所以、すなわち「人間の個性」はあらためて問い直されるであろう」という考えに基づくものです。「学生中心の教育」「研究の個性化」「患者中心の医療」「社会への貢献」組織の活性化」の5つをキーワードに、文系と理系の統合をベースにした個体差健康科学の構築を追求しました。また、「新医療人育成の北の拠点をめざして」をスローガンに掲げ、「21世紀の新しい健康科学の構築」を行動指針としました。

さらに第5代学長は、先代の基本的姿勢を継承したうえで「医療系ブランド人材育成（教育力向上）」「キャンパス再構築」「医療機関の将来展望」「経営管理」の4つを柱とした「2020行動計画」を打ち出し、未来に向け勝ち残る大学をめざしました。

第6代学長は「2020行動計画」を継承し、いっそう豊かな改革の歩みに向け、重点項目に即した様々な取り組みを実施。計画の深化を図るとともに、2013年にリハビリテーション科学部を開設しました。第7代である浅香正博現学長は学園創立50周年を視野に入れ、「教員を柱とする新たな中長期計画の策定に向け検討を進めています。

北海道医療大学が重視しているのが、チーム医療の現場で活躍できる人材の育成。チーム医療とは、多様

さまざまな専門職が連携する「チーム医療」を学ぶ



医療系総合大学ならではの幅広いアプローチの学び

北海道医療大学でもっとも長い歴史を持つ薬学部は、薬剤師だけでなく研究開発や在宅医療・災害地医療など、多様なニーズとキャリア形成を視野に入れたカリキュラムを展開しています。

歯学部では、全身医学に基づいた歯学が修得できるカリキュラムを編成しています。

看護福祉学部看護学科では、看護と福祉を融合させた新しい教育を展開。演習・臨床実習も豊富で、実践力を磨くことができます。同学部臨床福祉学科は、保健福祉臨床、精神保健福祉、介護福祉の3コースを設置しています。

心理科学部では文理の枠を超えた心理学教育を展開し、公認心理師のカリキュラムにも対応しています。リハビリテーション学部理学療法学科では、地域社会の健康支援活動

高い国家資格試験合格率 経済支援制度も充実

北海道医療大学では学部を越えた学びや実習を多く行う一方で、各学科に学習支援室を設置し、個別の相

などに参加する授業を実施。スポーツリハビリテーションを学ぶ環境も整えられています。作業療法学科では、近年、在宅医療の現場でも需要が高まっている作業療法士を育成。音楽療法士養成コースも開設しています。

言語聴覚療法学科では、「聞く」「話す」「食べる」「飲む」に関わる障害の評価や訓練を行う専門職である言語聴覚士を育成します。

2019年4月に新設された医療技術学部臨床検査学科は、北海道・東北の4年制私立大学で初の臨床検査技師養成校として、臨床の現場で実際に使用されているシステムの導入や、高度な先進医療技術を視野に入れた学習環境を整備しています。

(1) 多職種連携教育

1年次「多職種連携入門」では、全学部学科合同のグループワークを通して、多職種への理解を深める。2020年度からは、3・4年次「全学連携地域包括ケア実践演習」を新設。全学部学科の学生がチームとなり、病院や施設、在宅ケアなどの現場で実際的な多職種連携を体験する。ほかにも、学部合同の授業や独自科目が充実している。

(2) 学生一人あたりの教員数

一般的な大学に比べ教員数が多いため、一人ひとりの学びを手厚く支援することができる。
【全学部平均】10.2名
(学生3374名、教員332名)
・薬学部: 14.1名(学生1002名、教員71名)
・歯学部: 4.3名(学生443名、教員102名)
・看護福祉学部:
9.1名(学生664名、教員73名)
・心理科学部:
15.8名(学生285名、教員18名)
・リハビリテーション学部:
16.4名(学生835名、教員51名)
・医療技術学部:
8.5名(学生145名、教員17名)

(3) 国家資格試験

主な国家資格試験の合格率(2020年新卒)は以下の通り。

- 【薬学部】
 - ・薬剤師 90.5%(全国平均84.8%)
- 【歯学部】
 - ・歯科医師 82.8%(全国平均79.3%)
- 【看護学部】
 - ・看護師 94.7%(全国平均94.7%)
 - ・保健師 92.9%(全国平均96.3%)
- 【臨床福祉学部】
 - ・社会福祉士 67.6%(全国平均56.0%)
 - ・精神保健福祉士 92.9%(全国平均74.0%)
 - ・介護福祉士※ 100%(養成施設全国平均80.0%)
- ※法改正により2018年度卒業生から国家試験受験が必要となりました。(2022年までは経過措置有)
- 【理学療法学科】
 - ・理学療法士 100%(全国平均93.2%)
- 【作業療法学科】
 - ・作業療法士 100%(全国平均94.2%)
- 【言語聴覚療法学科】
 - ・言語聴覚士 87.8%(全国平均84.3%)

■学生キャンパス副学長制度(SCP)

各学部から1名ずつ選出された学生が、大学の運営に参画する制度。よりよいキャンパス作りには、教職員のみならず学生の力が必要不可欠との考えから、学内施設・サービスに関する改善提案や、オープンキャンパスをはじめとする各行事への参加など幅広い活動に取り組み、学生の視点を取り入れた大学作りをめざしている。

談や指導、補正授業などを実施。また、未履修や苦手科目をフォローする科目も開講するなど、手厚い学習支援制度が用意されています。

国家試験対策も万全で、多くの国家資格試験で全国平均を上回る結果を残しています。

経済的な支援制度では、給付型の「福祉・介護人材育成奨学金」(薬学部特待奨学生)「歯学部特待奨学生」のほか、複数の貸与型も設けています。

浅香学長は「北海道は明確な四季を持つ素晴らしい大地です。移り変わる季節の中、学内外で多くの思い出をつくり、充実した学生生活を送ることができます。北海道医療大学は、皆さんの入学を心からお待ちしております」と、受験生にメッセージを送っています。

